

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ロザリオ発達センター ふたば保育園 (放課後等デイサービス)		公表日		2026年 3月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・夏休み等(長期休み)は、新ふたばも利用できています。	・放課後等デイサービスの時間帯は、部屋を分けて過ごすことは可能だが、長期利用時や車いす利用児が多い日は部屋が狭いと感じます。 ・車椅子と歩ける利用児がいるため、安全を考えるともう1部屋あるといいなあ〜と感じます。特に長期利用時。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・定員人数、配置はしています。 ・排泄介助やおやつなどは定員以上に配置がされています。	・長期利用や学校の休校日の日中利用、土曜開所も配置数が足りないと感じます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・段差がなく車イスでも利用できるバリアフリーな施設です。 ・スロープや自動ドア、カーポートと改善を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・業務改善については常に会議内で話われています。 ・月に1回、スタッフ会議にて話し合っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・問題については意見をもとに話し合い改善に向けています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・朝礼(ミーティング)や会議等での意見を基に改善に努めています。 ・会議や委員会で意見交換できる環境となっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	・2019、2022年に第三評価を行い、業務改善につなげている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・スペシャルランニングにて研修を行っています。 法人にて〇年研修など実施しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・保護者からのニーズを基に計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・モニタリングや6か月ごとに計画書の見直し等、会議にて話し合っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・年1回、アセスメントを実施しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・常勤のみで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・同じプログラム各職員が工夫しながら内容を組み立ててくれています。 ・季節ごとのイベントを取り入れています。	・マンネリ化している気がします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個々の特徴を考慮し計画作成と支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・朝礼（ミーティング）で打ち合わせをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・放課後等デイサービス後にはできないため翌日の朝、朝礼（ミーティング）にて行っています。（情報共有）	・最後まで利用児が利用しているため、反省ができません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		その日の記録は、その日に行うようになっています。必要に応じて、朝の申し送りや会議などで改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・月1回、モニタリングを行い、必要に応じてプランの見直しを行います。 ・6か月に1回見直しを行っています。また必要に応じて見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・絵カードや実物を提示し、本人の意思確認しながら、活動などをすすめています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・地域の放課後等デイサービスと情報共有や困りごとなど話し合える会議を行っています。 ・併用している利用児については、情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・協力医療機関などと連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・学校お迎え時、その日や最近の様子など確認し、情報共有しています。 年1回、学校との話し合いに参加し（八日市場）送迎時の対応として保護者や学校と連携をはかっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		・移行する事業所に情報を提示しています。 ・必要に応じて情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		・旭市こども発達支援センターと連携をはかっています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6		・コロナ期間が開けたため、計画必要と考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	・旭市と匝瑳市の自立支援協議会に参加しています。 ・相談スタッフが参加しています	・相談スタッフが参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・お迎え時にその日の様子など伝えたり、保護者からの情報提供にて会議などで情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	・状況によって公認心理士が対応しています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に時間をかけてすべて説明しています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			・必要に応じ専門スタッフからの助言や支援につなげ対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7		・必要に応じ、説明会など行っています。 ・行事等で保護者同士交流を図ってもらっています。	・保護者会については、検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			・第三者委員会を設置しています。 ・速やかに事実関係を調査し、その結果改善や利用児、保護者に報告、説明をします。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	2		・ロザリオ発達センターでは、ホームページはありませんが、法人ホームページにて発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			・取り扱いに気をつけています。 ・同意書を取り、ご家族に確認しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			・利用児や保護者が理解できるように工夫しています。 ・絵カードを使用しています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		・年1回、法人にてロザリオ福祉まつりやスプリングコンサートを予定しています。	・感染対策上行えていませんでした。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		・各種マニュアルは回覧・掲示しています。 ・感染症予防などは手紙を配布しています。 ・年1回法人防災訓練、防疫訓練を実施し、その他にも引き渡し訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			・年2～3回、防災訓練を実施しています。 ・長期休業利用時、児童発達と合同で防災訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			・お薬手帳のコピーを提出してもらっています。 ・病院受診の際、気をつける点など情報を共有している。 ・主治医の意見書も提出していただいている。 ・必要に応じて、協力医療機関にも受診してもらっている。 ・発作時の薬をセンターにて保管している。 ・保護者にも確認し情報共有している。 ・年1回、アセスメントの見直しを行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			・契約時、アレルギーの確認を行っています。 ・アレルギー検査結果をコピーさせていただき支援しています。 ・主治医の意見書も提出していただいています。 ・必要に応じて、協力医療機関にも受診してもらっています。 ・緊急用薬をセンターにて保管しており、指示通り使用できるような体制を整えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			・月に1回、安全について環境改善など話し合っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			・玄関に提示してあります。 ・全体会議にて話し合っている。（利用児の状況や改善点）	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に提示してあります。 ・月1回。全体会議にてヒヤリハット報告書を振り返りを実施しています。 ・全体会議や書類回覧にて職員全体で情報共有しています。 ・研修も含め予防法や対応策を確認しています。 	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回。全体会議にて虐待防止委員会を実施しています。 ・研修動画や講義での虐待防止研修も含めて行っている。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者に説明し、記録等行う。 ・個別計画書に記載しています。 	